

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味⑤

名前

26 問

問題 一

(一) 次の慣用句の — 部分の読みがなを () に
ひらがなで書きましょう。

- ① 蛇蜂取らず (あぶはち) ⑥ 爪の垢を煎じて飲む (あか)
- ② 快刀乱麻を断つ (かいとうらんま) ⑦ 暖簾に腕押し (のれん)
- ③ 亀の甲より年の功 (かめ) ⑧ 下馬評が高い (げばひよう)
- ④ 癩の虫 (かん) ⑨ 俎上に載せる (そじよう)
- ⑤ 匙を投げる (さじ) ⑩ 獅子身中の虫 (ししんちゅう)

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を () に漢字で書きましょう。

- ① クギヅケになる 答え (釘付け)
- ② ケツパンを押す 答え (血判)
- ③ サジヨウの楼閣 答え (砂上)
- ④ エビで鯛を釣る 答え (海老)
- ⑤ 風前のトモシビ 答え (灯火)

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

【大風呂敷を広げる】 実現できそうもない大げさな計画や話をする
こと。ほらをふく。

(例) 彼はまた大風呂敷を広げている。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○を
つけましょう。

知らない言葉は調べてみよう！



- ① 虎の尾を踏む ア 虎使いが虎を操ること。
イ 非常に危険なことをするたとえ。
ウ 動物園で虎の足跡を見つけること。
- ② 元の鞘に収まる ア 一度仲たがいった者同士が、再び元の関係に戻るこ
ト。
イ 刀を鞘にしまうこと。
ウ 古いものを新しいものに取り替えること。
- ③ 両刃の剣 ア 二つの刃を持つ便利な剣のこと。
イ 剣術の達人が使う特別な剣のこと。
ウ 一方では役立つが、他方では害をもたらす危険もあるもの
のたとえ。
- ④ 耳にたこができる ア 何度も聞いて暗記すること。
イ 同じことを何度も聞かされて、うんざりすること。
ウ 耳せんをすること。
- ⑤ 水の泡となる ア 水の中に泡がたたくことができること。
イ お風呂に入ってリラックスすること。
ウ それまでの努力や苦心が、すべて無駄になってしまうこと。
- (二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。
- ① 一度悪事に手を出した以上は、最後まで徹底的に悪
事を貫こうとすること。
ア 毒を食らわば皿まで イ 付け焼き刃 ウ 帳尻を合わせる
- ② 話や考えが漠然としていて、はっきりしない様子。
ア 梨のつぶて イ 二の舞を演じる ウ 雲をつかむよう
- ③ 多くのものの中のほんのわずかで、取るに足りないもの。
ア 九牛の一毛 イ 群を抜く ウ 吹けば飛ぶような
- ④ 見かけは立派だが、中身が伴わないこと。
ア 羊頭狗肉 イ 才色兼備 ウ 錦を飾る
- ⑤ お互いに心の底まで打ち明けて親しく付き合うこと。
ア 肝胆相照らす イ 水と油 ウ 腹を探る